

◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2024年度）

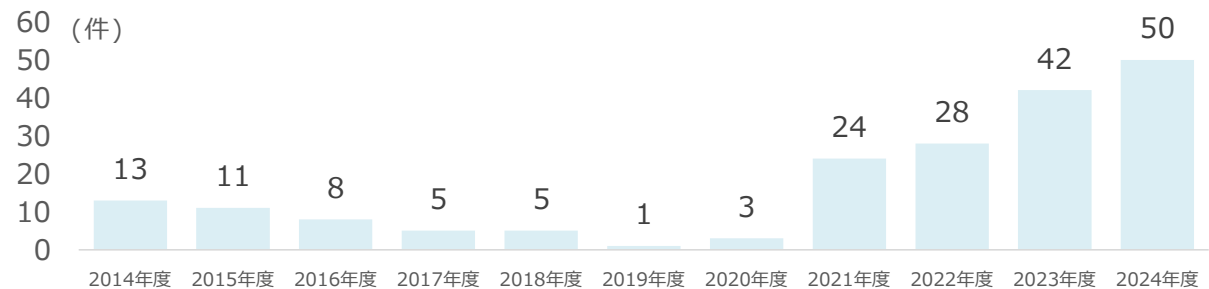
機関投資家向け説明会

開催時期	説明会名称	主な登壇者（説明者）
5月	2025年3月期決算説明会	代表取締役社長、企画担当取締役
11月	2025年3月期第2四半期決算説明会	代表取締役社長、企画担当取締役

機関投資家との個別対話

延べ 対話社数	投資家概要	対応者
50社	国内外の機関投資家 （ファンドマネジャー、アナリスト等）	- 代表取締役社長、企画担当取締役、企画担当執行役員 … 9件 - IR担当（総務部） … 41件

【ご参考】
機関投資家との個別対話
年度別推移



◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2024年度）

対話の主なテーマや株主の関心事項

時期		対話の主なテーマ		年間テーマ件数	
2023年度 通期決算発表後	5月～ 6月	前期総括、 今期計画	1. EV化対応進捗 2. 株主還元方針 3. ライフサイエンス	EV化対応 ワイパー ライフサイエンス	26 26 26
第1四半期 決算発表後	7月～ 8月	四半期業績	1. ワイパー動向 2. EV化対応進捗 3. 為替影響	為替影響 株主還元方針 四半期業績	18 17 13
第2四半期 決算発表後	10月～ 11月	上期業績、 通期見込	1. ライフサイエンス 2. 地域別状況 3. インド事業拡大	中計状況 2024年度計画 インダストリアル	13 8 8
第3四半期 決算発表後	2月～ 3月	通期見込、 来期計画	1. 中計進捗 2. セグメント状況 3. 米国関税・為替	金属加工・ホース事業 セグメント状況	8 6

◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2024年度）

対話を通じて気づき等を得られた内容

	主な内容
株主から気づきが得られた対話	・ 資産の効率化を図るなど、資本コストを意識した経営の推進 ・ 株主還元に関する考え方
株主の理解を得られた対話事例	・ 中計の戦略とその状況（インド事業拡大、ワイパーソリューションビジネス） ・ ニッチ市場における当社競争力の高さ（工場見学会を通して） ・ 合理化の状況

経営や取締役会へのフィードバック状況

内容	頻度	報告手法
株主との対話実施状況／四半期報告	年4回	取締役会報告、討議
投資家・アナリストコメント、レポート	適宜	メール等

◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2024年度）

2025年度活動方針

項目	主な活動方針
株主との対話の 主な対応者	・ 取締役、執行役員による説明、対話機会の充実
株主との対話充実に 向けた施策	・ 決算説明会等コンテンツ改善（当社理解・認知度向上） ・ 機関投資家向け工場見学 ・ 1on1面談機会の創出（証券各社等との連携強化） ・ 海外投資家対応：日英同時開示の開示文書拡大

株式会社フコクは、株主との対話に必要な基本サイクルである
「開示」→「**機関投資家との対話**」→「**経営へのフィードバック**」を積極的に活用することで、
当社の企業価値向上と共に認知度・魅力度アップにも繋げてまいります。